

本学医学部生が米国のクレムソン大学生と国際交流

1月23日、医学部附属教育支援センターは、本学の学術交流協定校であるクレムソン大学（米国）とオンライン交流会を本学国際センターと合同で開催しました。本学からは医学部生7名と教員1名、職員1名、クレムソン大学からは生物学や心理学を専攻し、将来メディカルスクールへの進学を目指す学生2名とアドバイザー（専門職）1名、職員1名が参加しました。



オンライン交流会の様子

交流会では、最初にそれぞれの学生から、国や大学についてクイズ形式のアイスブレイクが行われました。特に盛り上がったのは、日本の風習や福井の恐竜の話題。また、クレムソン大学生からは、米国で医師になるまでの過程が紹介され、本学学生は興味津々で耳を傾けました。参加した学生からは「医師になる道は険しいと感じた」、「色々な話が聞けてとても楽しかった」などの感想が聞かれました。

クレムソン大学は、アメリカ合衆国南東部のサウスカロライナ州にある公立大学で、1889年設置、学生数26,000人以上、州内で最も高水準の教育を提供している総合大学。本学とは、学術交流協定を2003年2月に締結しています。

本学は今後も、コロナ禍においても国際交流を後退させることの無いように、学生を中心にグループワークやオンラインセミナーなどなどを実施する予定です。